ISO/TC 211総会報告

ISO（International Organization for Standardization：国際標準化機構）は、世界的な標準化及びその関連活動の発展を図ることを目的に1947年に発足し、ノルウェーを議長国とした非政府機関です。

ISOの中には多くのTechnical Group（専門委員会）が設けられ、それぞれの専門分野における国際標準の検討を行っています。その一つとして、“地理情報の標準化を検討する専門委員会（ISO/TC 211：Geographic Information / Geomatics)”が、1994年に設立され、わが国も地理情報の国際標準の作成に積極的に貢献するため、Pメンバー（正式メンバーで、総会出席の義務及び投票の権利を有する）として参加しています。

ISO/TC 211では、現在までに地理情報の設計方法や品質の考え方、地理情報を使った各種サービスの仕様などの国際規格群が「地理情報標準」として生まれています。これらの規格群は、「地理空間情報活用推進基本計画」で引用されるなど、日本における地理空間情報社会の高度化の実現に大きく貢献しています。

ISOにおける標準化は各国の作業団体が各国を代表して参加し、投票によって規格作成の段階が進みます。投票の対象となっている規格の背景把握、内容調整、方針決議ができるのが“総会”となります。総会は1年間で春季と秋季の2回開催されており、開催国は世界各国を順次決定されています。日本では1999年に第9回京都総会が、2008年に第28回つくば総会が開催されています。

標準化の作業項目は国単位で提案していますが、編集作業は総会の期間中の各会議体で行われます。また、編集作業には規格の提案国だけでなく、必要に応じて選出されたエキスパートと呼ばれる各国の代表が参加します。

ISO/TC 211総会は2014年11月に第39回深セン総会（中国）が、2015年6月に第40回サウサンプトン総会（英国）が開催されました。総会ではWG（ワーキンググループ）·EC（編集委員会）·PT（プロジェクトチーム）等の分科会討議や2日間にわたる本会議及びレセプション、テクニカルツアー等の関連行事を含めて、5日間の日程で開催されます。総会には、わが国をはじめ、地理情報の国際規格作成に参加している約35の国·地域及びISO内外のリエゾン団体（関連機関）からそれぞれ約70～90名の参加がありました。

現在作業中の規格の一つに、WG10の中心とし結成されたPT 19155-2（場所識別子（PI）アーキテクチャー第2部：場所識別子（PI）リンク）があります。これは日本の植原啓介氏（慶應義塾大学准教授）をプロジェクトリーダーとして原案の作成、とりまとめを担当しています。第39回深セン総会のプロジェクトミーティングでは、CD（委員会原案）投票の際に各国から寄せられた規格に対するコメントの確認と協議を、第40回サウサンプトン総会ではDIS（国際規格案）発行に向けての調整が行われました。

次回の総会は2015年12月に第41回シドニー総会（オーストラリア）で開催されます。その際、日本から新たに測位情報の評価に関する作業項目が提案される予定です。

■第39回ISO/TC 211総会

開催日時：平成26年11月24日（月）～28日（金）

開催国·会場：中華人民共和国深セン市
Pavilion Hotel Shezhen（華強北路）

日本からの参加者：4名
藤村 英範（国土地理院 / 団長）、
黒川 史子（国際航業株式会社）
ブルース·W·リース（一般財団法人 日本情報経済社会推進協会（JIPDEC））
郡司 哲也（同上）

■主な決議事項

・プロジェクト運営上の決議（新規プロジェクトの登録、改訂作業開始、投票開始指示等）
・標準化プロセスを短縮するため、XML スキーマ等の UML から導出リソースがあれば、項目として附属書から参照することを合意。
・上記を受けて、ISO/TS 19139（メタデーター XML スキーマによる実装）の適用範囲の変更を合意。
・用語管理ソリューションの改善の必要を認識し、仕様とユースケースの取りまとめを用語管理グループに求める。仕様とユースケースを回覧し、システム実現に向けた貢献を求める。

PT 19115-2の会議風景

■第 40 回 ISO/TC 211 総会

開催日時：平成 27 年 6 月 8 日（月）～ 12 日（金）
開催国・会場：イギリス・サウサンプトン州　英国陸地測量部
日本からの参加者：3 名
　藤村 英範（国土地理院 / 団長）、
　ブルース・W・リース（一般財団法人 日本情報経済社会推進協会（JIPDEC））
　郡司 哲也（同上）

■主な決議事項

・プロジェクト運営上の決議（新規プロジェクトの登録、改訂作業開始、投票開始指示等）
・世界銀行、無人航空システムを扱う ISO/TC 20/SC 16 とリエゾン関係を結ぶ。
・古い技術報告書を廃止し公開できるか ISO 中央事務局に確認する。
・第 41 回総会を 12 月 7 日（月）～ 12 月 12 日（金）にオーストラリア・シドニーで開催する。

総会会場（英国陸地測量部内会議室）